

第4号 近江八幡市有機農業推進に係る農機具シェアリング業務委託仕様書

1 件名

第4号 近江八幡市有機農業推進に係る農機具シェアリング業務委託

2 委託期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

3 業務目的

本業務は、有機農業の推進に関する法律（平成18年法律第112号）第2条に規定する農業（以下「有機農業」という。）の取組を支援するため、近江八幡市が整備したポット成苗田植機及び水田用除草機（以下「農機具」という。）を適切に管理するとともに、効率的な貸出体制を整えることを目的とする。

あわせて、農機具の円滑な利用を図るため、日常的な点検や操作講習を実施し、利用者が安全かつ安心して農機具を活用できる環境を整備する業務を委託するものである。

4 業務実施場所

近江八幡市内において有機農業を実施する圃場及び市が指定する場所とする。

5 対象の農機具

種類	メーカー	型式	仕様
ポット成苗田植機	みのる産業(株)	R X E 6 1	ポット成苗用 乗用6条植え
乗用型水田用除草機	(株)オーレック	S J 6 0 0 A (W E E D M A N)	6条用 条間30cm

6 業務内容

受託者は、次に掲げる業務を実施するものとする。

(1) 農機具の管理

- ・市が指定する場所において、各農機具を安全かつ適切に管理すること。なお、受託者が管理する場所において保管する場合は、事前に市と協議を行うこと。
- ・農機具を管理する際は、盗難及び破損の防止を図るため、保管場所の施錠及び必要な防犯対策を講じること。また、防犯対策のために必要な備品及び消耗品費を見積金額に含めること。
- ・農機具ごとに整理し、出入庫状況（出入庫年月日及び時刻等）を管理すること。
- ・錆、腐食、カビ等の防止、適正な湿度及び清潔な状態の維持に努めること。
- ・保管機種一覧及び管理台帳を作成し、常に最新状態に保つこと。
- ・本業務の遂行に起因して第三者の身体又は財産に損害を与えた場合に補償される保険に加入すること。なお、保険料については、見積金額に含めるものとする。

（２）農機具のメンテナンス

- ・使用前後に、農機具の外観、作動状況及び安全装置等について点検を行うこと。
- ・点検項目の例は次のとおりとする。
田植機：植付部、走行部、エンジン等の確認
除草機：刃部、回転軸、モーター、バッテリー等の確認
- ・異常又は不具合を確認した場合は、速やかに市へ報告するとともに、必要に応じて修繕又は整備を行うこと。また、故障等の緊急時に即時対応できる体制をとること。
- ・総額２０万円以上の修繕を行う場合は、事前に市と協議すること。なお、金額は別途協議のうえ定めるものとする。
- ・受託者の責に帰すべき事由により、農機具に紛失、盗難又は破損等が生じた場合は、受託者は、市と協議のうえ、原状回復又は損害の賠償その他必要な措置を講じるものとする。
- ・借主の不注意等による操作及び取扱いに起因する事故により農機具の故障等が生じたときは、修繕費用の負担等については、市が受託者及び借主と協議のうえ、必要な調整を行い、対応するものとする。
- ・日常清掃（泥や草等の除去）を行い、次回使用に支障のない状態を維持すること。
- ・点検結果は点検記録簿として整理し、３か月ごとに市に提出すること。

（３）農機具貸出受付・運搬業務

- ・貸出及び返却に係る利用記録を貸出管理簿として整理し、適切に管理すること。
- ・貸出時及び返却時には、農機具の点検を実施すること。
- ・利用希望に応じ、借主が指定する市内圃場等まで農機具の運搬及び回収を行うこと。なお、運搬及び回収に係る費用は、見積金額に含めるものとする。
- ・利用後は清掃及び点検を行い、利用可能な状態に復旧すること。
- ・農機具使用にかかる燃料費は、借主の負担とする。

（４）操作講習

- ・初回利用者または講習を希望する者に対し、安全な操作方法及び機能の活用方法に関する講習を実施すること。
- ・講習内容は、原則として機器メーカーが示すマニュアルに準拠したものとする。
- ・講習実施にあたっては、受講者名簿及び実施記録を作成し、市に提出すること。
- ・事故防止の観点から、安全装備の着用について指導を行うこと。

６ 報告・連絡

- ・３か月ごとに貸出状況等を取りまとめた業務実施報告書を提出すること。
- ・故障又は事故等が発生した場合は、速やかに市へ報告すること。
- ・必要に応じて市担当者と連絡調整を行うこと。

７ 成果物

本業務における成果物は次のとおりとする。

- ・貸出管理簿
- ・点検記録簿（3 か月ごと）
- ・操作講習記録（受講者名簿及び実施記録）
- ・業務実施報告書（3 か月ごと）

8 支払い

- ・委託料は、受託者からの実績報告書の提出及び内容の確認後、実績に応じて四半期ごとに支払うものとする。

9 契約

- ・契約については、定額分に加え、加算分を1 件あたりの単価契約とする。
- ・定額分及び加算分（単価契約）に含まれる経費は次に掲げるとおりとする。

（1）定額分

- ・メンテナンス代（部品、消耗品費含む）
- ・修繕料（部品、消耗品費含む）
- ・シェアリングの仕組みづくりに必要な備品及び消耗品費（携行缶等）
- ・防犯対策のために必要な備品及び消耗品費
- ・操作講習に係る費用
- ・保険料
- ・諸経費

（2）加算分（貸出し1 件あたりの単価契約）

- ・貸出受付に係る費用（貸出し前後の点検費用含む。）
- ・運搬費用（往復分）
- ・諸経費

10 事業の実施フロー

事業の実施フローは、別紙のとおりとする。なお、詳細については、市と受託者が協議のうえ、決定するものとする。

11 その他

- ・市は、農機具シェアリング事業の円滑かつ効果的な推進を図るため、当該事業に係る制度設計等について、必要に応じて受託者に対し意見又は助言を求めることができるものとする。
- ・市は、保管場所及び保管方法等については、現場確認を行うことがある。
- ・受託者は、業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ委任又は請け負わせた者の商号又は名称及び住所を市に報告するものとする。
- ・受託者は、業務上知りえた情報を、正当な理由なく第三者に漏らしてはならない。